

スズキ SRS 付車取付説明書

414,415,414S 専用取説

この度は弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

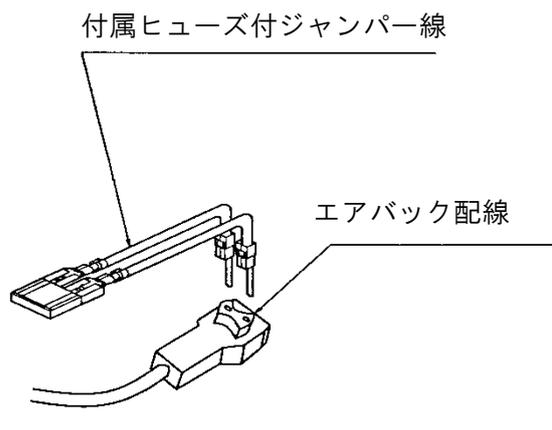
※必ず付属の説明用紙を全てお読みになってから作業を行ってください。

- ・本製品はスポーツタイプのステアリングに交換するためのアダプターです。それ以外の用途に使用しないで下さい。
- ・ステアリングは重要保安部品に該当しますので、しかるべき知識、技術をお持ちの専門店で作業をご依頼ください。
- ・作業時は保護メガネ、グローブ等の安全具を身に着け、怪我に充分注意し作業を行ってください。
- ・事故等、強い衝撃時に本製品により運転者に損傷を及ぼす危険があります。充分ご注意ください。
- ・誤った取り付けや取り扱いによる車両等の破損、又は事故等を起こされた場合、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・純正ステアリングの取り外しは本取説には記載しておりません。自動車メーカーの整備解説に基づいて行ってください。
- ・作業は車両を平坦な場所に置き、ステアリングを直進状態にして、必ずバッテリー端子を外して10分以上経過してから作業を始めてください。
- ・バッテリーを外した際にオーディオやパワーウィンドなどの設定がリセットされますので事前に復元方法をお調べください。
- ・スパイラルケーブルは純正ステアリングを外した状態から絶対に回転させないでください。センター位置をずらしてボスを装着するとスパイラルケーブルを破損する事があります。
- ・本取説により正確に配線を行っても、車両個体差や取り付け状態等により警告灯が消灯しない場合があります。ご了承ください。又、警告灯が消灯した場合でもステアリングエアバッグ以外のエアバッグ作動は保証できません。(純正のエアバッグモジュールに戻しても警告灯が消灯しない場合はディーラーの診断機をかけないと消灯出来ない場合があります。)
- ・純正ステアリング上にあるホーン以外の各種スイッチは使用できなくなります。
- ・取り外したステアリングとエアバッグは大切に保管して下さい。何らかの理由で純正ステアリングに戻す際に必要になります。紛失した場合の部品代や工賃の保証は一切できません。
- ・運転席エアバッグを取り外すことにより、任意保険の契約内容に変更が必要になる場合があります。ご加入の保険会社にお問い合わせください。

取り付け説明

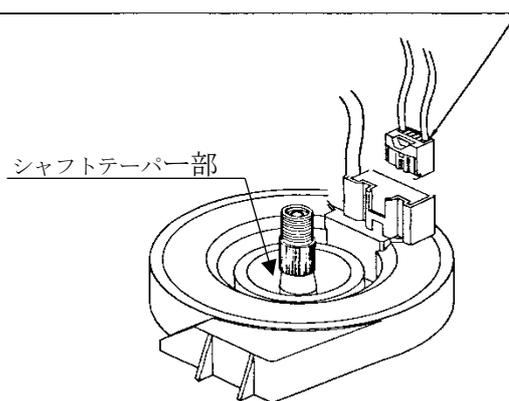
1. 純正ステアリングを取り外します。ステアリングの取り外しは整備解説書等を基に行ってください。
2. エアバックに接続されていた車両側コネクタに付属のヒューズ付ジャンパー線（極性無し）を差し込み、抜けないようにテープ等で固定します。

●エアバッグコネクタ



●ホーン配線の選択

ホーン配線は純正コネクタを参照に取り付けしてください。



3. 付属のホーンカプラーのうち合うものを接続します。
※付属しているホーンカプラーから複数本の配線が出ていますが複数の配線のうち**1本の配線のみ**を使用します。どれに電気が流れているかは純正ステアリングのホーンカプラーを参照して下さい。余った配線は使用しませんので絶縁処理をして邪魔にならないよう収納してください。余った配線はアース線(-)ではありません。様々な車種に対応するため複数本出ています。
4. **ボスを装着する前に車両側シャフトテーパ部をパーツクリーナー等で必ず脱脂を行ってください。**
脱脂を行わずにボスを締め付けされると、規定トルクで締めたとしてもボスが割れてしまう場合があります。
5. ボスからボスカバーを分離しボスのトップマーク（▲）を真上にしてホーン配線などをボス内部に引き込みつつ、ステアリングシャフトに差し込みます。ショートボスの場合、丸いくぼみがトップマークになります。このとき、スパイラルケーブルは純正ステアリングを外した状態から回転させないでください。
6. エアバック配線はボス内部に引き込むかボスの周りに巻き付けテープ類で固定し、ボスカバーをかぶせます。カバー下部が干渉してしまう場合は、カッター等で干渉部分を切り取って調節して下さい。このときケガ等には十分注意してください。

裏面に続く

7. ボスのトップ位置が良ければボスを付属のナットで締め付けます。
ボスのトップ位置を左右に1山ずらしてもセンターが出ない場合は本締め付け後、足回りの調整でステアリングセンターを出して下さい。
※締め付けトルクは30N・m(3kg)。締め付けには必ずトルクレンチを使用してください。
8. ラフィックスⅡまたはGTCを取付けされる方はここからそれぞれの製品の取り付けに進んで下さい。
9. バッテリー端子を接続し、社外ステアリングを付属のネジで固定します。
締め付けトルクは8N・m(0.8kgf。m)です。
ホーンボタンの取り付けは下図を参考に装着するホーンボタンに配線を接続し、鳴ることが確認できれば作業は終了です。
2極タイプのホーンボタンはアース線が必要になりますので必要に応じて配線を加工してください。

MOMO タイプホーンボタン



ナルディタイプホーンボタン



株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email : support@worksbell.co.jp

URL : <http://www.worksbell.co.jp>

20231122w